

No.A：リサーチ業務

勤務先部署	社会基盤センター アーキテクチャ設計部
区分	常勤嘱託 又は 非常勤嘱託
募集人数	若干名
業 務 内 容	<p>Society5.0 の進展に伴い、多様なステークホルダーが複合的に連携し複雑化したシステムが生活や産業の基盤を形成しているが、特にサイバー・フィジカルの融合領域や IoT 等の分野において、そうした社会システムや産業構造の最適な設計（アーキテクチャ設計）等を通じ、その総合的な信頼性等の確保と日本の産業競争力の強化を図る。</p> <p>当該職員は、デジタルアーキテクチャ・デザインセンターの業務の【リサーチ担当】として、社会や産業を対象としたアーキテクチャ設計に関連する知見に基づき、関係する調査研究関連機関と協力しつつ、中長期的にアーキテクチャ設計が求められる領域の分析・検討及びそのための場の運営に関する業務（具体例は以下を参照）に従事する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中長期的にアーキテクチャ設計が求められる領域の分析・検討（抽出すべき観点として例えば、社会的インパクト、課題の公益性、関連産業の規模感） 2. 過去のアーキテクチャ設計の成功・失敗事例の客観的分析及びその知見の抽出 3. 上述の分析・検討のために必要となる、多様な外部有識者等を柔軟に巻き込む議論の場の設置・運営 4. 関係する調査研究関連機関（例えば産総研、JST、慶應大学、（一社）システムイノベーションセンター）との共同調査等の協力 5. 国内外のアーキテクチャ設計に関連する団体や標準化団体、広範囲なプラットフォームを有する企業等の関連動向について定期的な調査・報告の実施。
ス キ ル 要 件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会システム、産業構造の変革に高い関心を有すること。 2. アーキテクチャ設計に関する経験・知見を有すること。（一般的なものづくりの分野だけでなく、（法やガバナンスの在り方、ビジネスとしてのエコシステム等も含む）社会システムや産業構造全体を対象とした領域であることが望ましい。） 3. 上述に関連した調査研究能力があること。（例えば Word100 ページ程度の企画書・報告書の作成経験） 4. 複雑な事項を分かりやすく構造的にまとめ、相手の関心に応じて表現する力（文章、口頭の両面）があること。 5. 当機構内だけでなく、関係省庁、民間企業、業界団体等の外部関係者との間で適切で円滑なコミュニケーションや調整を行えること